

## 令和6年度 秋サケ河川そ上予報

### 1 令和6年度河川そ上予測

河川毎に平成23年級以降の年齢別回帰尾数、3～5年前の卵収容実績と過去の旬別河川回帰率を用いて時期別の河川そ上予測を行い、11月上旬と12月中旬をピークとする2.5万尾となりました(図、表)。

各河川の旬別のそ上予測について、別表1のとおり令和5年度の実績値(上段)、令和6年度予測上限値(2段目)、予測値(3段目)、予測下限値(下段)をとりまとめました。

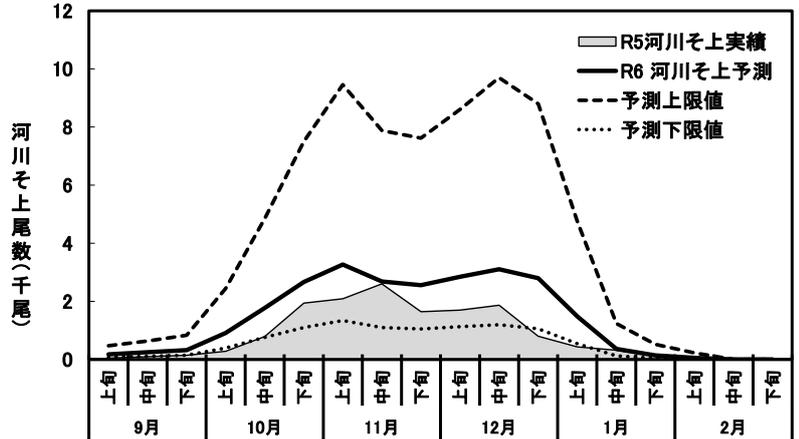


図 令和6年度旬別河川そ上予測と令和5年度旬別河川そ上実績

表 令和6年度河川予測結果

単位：尾

	予測下限値	予測値	予測上限値
沿岸河川	10,018	24,843	63,863
北上水系	35	135	791
合計	10,053	24,978	64,654

### 2 課題

予測どおり25千尾の親魚がそ上した場合においても、雌の比率が50%、雌1尾の卵数が2,500粒と仮定すると、雌を80%使用しても2,500万粒程度の採卵となり、7,500万尾を生産するために6,000万粒程度の種卵が不足すると考えられます(別表2)。

ふ化場再編マスタープランに従って、早期から種卵確保の体制を整えておくことが重要です。

岩手県全体の予測については、令和6年7月31日(水)に公表予定です。